

川崎の子どもたちの声を受けて！ 令和5年4月から！

学校給食の牛乳をストローレスパックに変更します！

市立学校の学校給食用牛乳は、これまで使い捨てプラスチックストローを使用していましたが、令和5年4月から、本市のSDGsの取組の一環として、**ストローを使わずに牛乳を飲むことができる容器（ストローレスパック）に変更します。**

1 概要

学校給食における牛乳用プラスチックストローの削減については、**児童生徒からの手紙や子どもたちが中心となって開催されたSDGsの会議などにおいて、学校給食用牛乳のストローの削減が提案されるなど**、子どもたちにとって身近な学校給食でのSDGsの取組として、本市ではストローレスパックへの変更に向けて、本市の学校給食用牛乳を一括調達している公益財団法人神奈川県学校給食会や、牛乳の供給事業者である雪印メグミルク株式会社と協議・調整等を行ってまいりました。

この度、雪印メグミルク株式会社の環境配慮に対する取組の推進として、ストローレスパックへの容器変更が決定され、本市全小・中・特別支援学校の給食において、ストローレスパックを使用することになりました。

2 環境効果（年間最大の推定値）

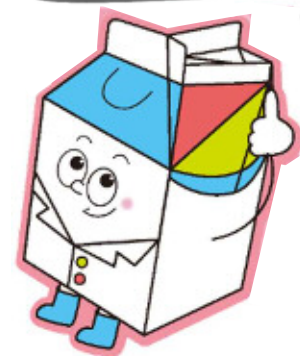
約186人分の
プラスチックごみ年間排出量に相当！

▶▶ プラスチックストロー約2,000万本(約6トン)*削減

[ストロー1本(0.3g) × 11万人 × 180回]

- ※ 市立小・中・特別支援学校(全170校)の児童生徒及び教職員の人数……………【約11万人】
- ※ 給食平均回数(年間最大)……………【平均180回】
- ※ UNEP(国連環境計画)の報告書「シングルユースプラスチック」による日本が排出するプラスチックごみの量……………【人口1人あたり年間32kg】

飲み口が
開けやすくなっているよ！



素材提供：日本製紙株式会社

▶▶ CO₂排出量約15t-CO₂*削減

[ストローの量(6t) × 697 × 44 ÷ 12 ÷ 1,000] *

- ※ ストロー焼却で排出されるCO₂の量
- ※ 地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき算出
- ※ t-CO₂…………… [二酸化炭素1トンを意味する単位]

3 対象校及び開始時期

▶▶ 市立小・中・特別支援学校

▶▶ 令和5年4月の給食開始から

4 その他

ストローの使用に配慮が必要な児童生徒(小学校1年生など)については、環境に配慮したバイオマスプラスチックを配合したストローを提供いたします。

【問合せ先】川崎市教育委員会事務局健康給食推進室 大島
電話：044-200-3296

School POP のあけかた

①あけるまえに



よく手をあらう。

②プッシュパネルを



へこむまでおしこむ。

③りょうがわをもって、



さゆう
左右にひらく。

④ひらいたら、



うし
後ろにおしつける。

⑤りょうはしをもって



つまみながら前まえにひきだす。

